

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	秋田県立医療療育センター		
○保護者評価実施期間	2025年1月21日		～ 2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年1月21日		～ 2025年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2025年1月21日		～ 2025年2月10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で支援している。	対象児童が同法人の児童発達支援センターの利用児童である。事業所の児童発達支援管理者だけでなく、そのこどもの状況を把握しているグループ担任や個別指導担当者とも共通理解の下で検討し、より多くの視点から保育所等訪問支援計画を作成することができている。	今後も、こどもの状況を把握している関係者で検討する機会を持ち、より多くの視点から検討することで、保育所等訪問支援計画の作成をしていきたい。
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っている。	対象児童が同法人の児童発達支援センターの利用児童である。事業所の児童発達支援管理者だけでなく、そのこどもの発達状況や課題について共通理解をもっている。また、日頃から保護者とこどもの状況を伝え合う機会をもつことができている。	今後も、各関係者が日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の近々の状況や課題について共通理解をもって対応していきたい。
3	必要に応じて同法人内のリハビリテーション職員も同行し、保育所等訪問支援を行っている。	作業療法士や理学療法士による専門的な立場からのアドバイスを提供し支援している。	今後も、必要に応じて同法人内のリハビリテーション職員が同行し、専門的な立場からのアドバイスを提供することで、多方面からの支援をしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問頻度が限られている。	職員が兼務している。	人員配置の増員と工夫。
2			
3			